

玉川大学

玉川大学では、学生の自主性を引き出し、授業を活性化するための対策として、10年前からeラーニングの研究と実践を行っている。18年度現在、4割以上の授業で対面授業を補完し、教育の高度化を図るため、学生の到達度に応じた学習指導を全学共通のプラットフォームを用いてブレンディッド・ラーニング（eエデュケーション）を実施している。実施体制で特徴的なことは、教員が主体的に継続してeラーニングを活用できるよう、メディア教育推進室が教員一人ひとりの授業改善の実現に向け支援している。

1. 実施規模

設置6学部の全学部・大学院で実施

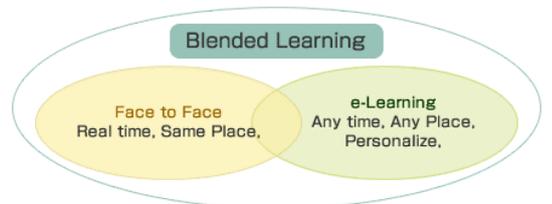
※文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、大学院

※科目数：858科目

※受講学生数：32,460名（延べ）

2. 授業での位置付け

講義資料による事前学習、授業毎回の到達度確認テスト、教員による相談助言、学生のディスカッション、ワークグループによる協調学習、到達度に応じて取り組む発展学習など、対面授業だけでは行き届かない学習指導を全学共通のプラットフォーム（Blackboard@Tamagawa）を用いて実施している。



3. 代表的な授業科目での活用状況

『情報システム演習』では、企業における情報システム導入の意義を理解させることを目的に、eラーニング上で、①授業計画の明示、②学習目標、講義資料などの掲載、③アナウンス機能を用いた課題学習などの指示を行っている。また、④アンケート機能を用いた学生の意見の収集、⑤テスト機能を利用した理解度の把握を行い、リアルタイムで学生の反応を踏まえ、授業設計の改善にフィードバックしている。

授業では、学生グループによる経営シミュレーションを行い、その上で、グループ単位のディスカッションを行っている。ディスカッションは、ディスカッションボード(BBS)、ファイル交換、電子メール機能を活用して行う。ディスカッションの後、グ

The screenshot shows the Blackboard LMS interface for the course '情報システム演習' (Information System Practice). The left sidebar contains navigation menus for 'アナウンス' (Announcements), 'シラバス' (Syllabus), '教員情報' (Instructor Info), '講義' (Lectures), '課題' (Assignments), and 'グループ' (Groups). The main content area displays course announcements, including a '第1回 (9/27) ガイダンス' (1st Session 9/27 Orientation) with a '授業ガイダンス' (Lecture Guidance) document. A red dashed circle highlights a '情報システム演習ガイダンス説明資料' (Information System Practice Guidance Explanation Material) link. Below, a '第1回 演習' (1st Session Practice) announcement is shown, featuring a '2つのワイン販売店の販売戦略問題' (Wine Sales Strategy Problem) with a '2つのワイン' (Two Wines) image. A red dashed circle highlights the problem text. To the right, a '情報システム演習の位置付け' (Positioning of Information System Practice) diagram shows the course's relationship to other subjects like Accounting, Business, and Marketing. At the bottom, a marketing simulation example is shown with two wine stores, A and B, offering different promotional deals.

情報システム演習の位置付け

会計学	経営学	戦略経営
原価計算	財務会計	売上げ管理
マーケティング	ITリテラシー	情報システム演習
情報	組織 協業	数学
		統計学

2つのワイン販売店の販売戦略問題

「2つのワイン販売店の販売戦略」の資料を配ります。
よく読んで自分の考えをメモしてください。
回答は左のメニュー「課題」から提出してください。
回答期限：9月29日（日）
（期限には遅れないようにしてください）

第2回の授業について

次回(第2回 9/29)の授業で考えてもらいたい。
「2つのワイン」

問題をよく考えて、答えの欄に記入してからBlackboardの画面上で答えてください。
次回の授業で、グループ検討します。この用紙を忘れずに持参してください。

ここにライバルのワイン販売店があります。

売上伸ばすぞー

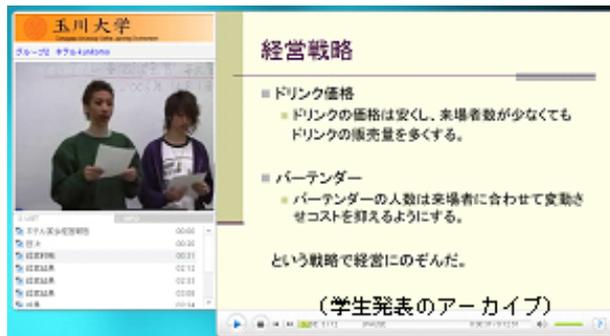
A店：『1周年記念セール！！』
1本1,000円のワインを 5本で4,300円！14%引き！！

負けないぞー

B店：『1周年記念セール！！』
1本1,000円のワインを 5本買うと、+1本無料プレゼント！！

(グループ学習課題)

グループ全体の発表会を行い、その様子を録画してeラーニングシステムに掲載している。これにより、学生相互での参照が可能となり、客観的な視点から問題点を確認できるなどの効果をあげている。



4. 大学の支援体制・支援内容

メディア教育推進室が中心となり、教員、学生向けの支援を行っている。教員向けの支援としては、

春秋の学期前3週間程度の期間にシステム活用に関する講習会を開催する他、教員個々の要望に応じて動画コンテンツなどの教材作成から授業シナリオへのアドバイスまで、授業設計・実施全般に亘る支援を実施している。支援に際しての基本姿勢として、eラーニングの活用は教員が主体的に実施することを前提としており、教員が理想とする授業をヒヤリングした上で実現の方策を検討し、無理なく継続できることを念頭にサポートしている。学生向けの支援としては、Blackboard@Tamagawa 操作講習会、情報リテラシー基礎講習会、MyPC 無線 LAN 接続講習会など通年にわたり開催するとともに、ITサポートデスク（相談窓口）を常設している。

eラーニングが全学的に効果を発揮するためには、教員のコンセンサスを形成することが最も重要であるため、未だ活用していない教員へのアプローチとして、活用事例、授業効果、学生アンケート報告などをニュースレターとして年4回配信している。

5. eラーニングの活用効果

- ① 学生個々の学力が向上し、授業全体のレベル向上につながっている。
- ② ディスカッション機能による課題学習は、学生が相互に意見・成果を常に確認できることから学習意欲を喚起しコミュニケーションが活性化している。
- ③ 対面授業の手の届かない部分をカバーしており、相乗作用によって「教育の高度化」に寄与している。

6. 今後の課題

学生ポータル機能を追加して、授業スケジュールと行事予定などが統合されたカレンダー、受講科目からのアナウンス、大学から個人への連絡・呼び出しなど、個々の学生にカスタマイズされた情報を提供し、学生一人ひとりへのきめ細かな学習指導をさらに充実することとしている。



《問合せ先》

玉川大学 eエデュケーションセンター メディア教育推進室
Tel : 042-739-8819 bbhelp@tamagawa.ac.jp